

学びのネットワーク

市民講師によるサロン塾

第1回 大人の為の

絵本の話



2

期 日 令和6年9月30日（月）  
午後1時30分から3時30分時まで  
場 所 鶴瀬公民館・いきいき活動室  
講 師 雪竹ますみ氏  
司書・絵本専門士「雪竹ますみ」  
参加者 5名



## 講座内容

はじめに、絵本「ライラックどおりのおひるごはん」を読んでからスタート。世界の料理の紹介やレシピまで載っている初めて見る絵本だ。そこから、好きな日本食や可愛い動物、幸せを感じることなど参加者が個々にカードに書き込み、そのカードを混ぜてカードを個々に戻してから書き込まれたカードをもとに自己紹介。こんな形の自己紹介は初体験。皆さん、ドキドキしながらカードを見ながら話し始めていました。

2回目のワークショップでは、「からあげビーチ」の表紙と裏表紙だけを見て、どんな絵本か想像してみるというもの。考えたことをワークシートに書き込み、発表。外観だけだとまったく想像がつかなくて、主人公はだれなのか、どんな物語なのかいろいろな意見が出された。最後に絵本を紹介されるのが待ち遠しくなるのは、子ども達と同じだ。こんな本の紹介の仕方があるのかと感動した。さて、本の中身は、衣を脱いだ「からあげ」たちの多様な姿だ。

この本は、アレルギー？菜食主義？人種や習慣の違いなど親子で食の多様性を学べる絵本だそう。まったく想像もつかなかった内容だった。みんな違って当たり前！自分らしく生きよう！というメッセージが込められている。

この他、「うつくしいってなうに」「おおきいかさ」などたくさんの絵本の紹介がされ、「多様性」やSDGSについて絵本を通じて紹介された。

## 参加者の感想からは

・読み聞かせボランティア「あいあい」では取り上げることのない絵本をたくさん紹介していただきました。SDGsや多様性など絵本を通じて考える機会を持てるととても良いと思いました。先生の絵本の読み方がとても好きで参考になりました。

・久しぶりに絵本に触れ楽しい講座でした。50年くらい前、家庭文庫が流行っていた時期、本集めをして、歳をとったら家庭文庫を開きたいと思っていた一人です。今は、集めた本に囲まれています、処分に困っています。SDGsの本がこんなにあるのにビックリ！



報告 金田光正